

九州学院14年ぶり準優勝 全国高校駅伝男子 2015年12月20日

千原台39位、女子の信愛女学院は21位

全国高校駅伝（男子66回、女子27回）が12月20日、西京極陸上競技場発着で行われ、熊本県勢は男子（7区間）の九州学院が2時間3分6秒で14年ぶりの準優勝に輝いた。男子の千原台は2時間8分51秒で39位、女子（5区間）の信愛女学院は1時間10分20秒で21位だった。

世羅（広島）が1993年の仙台育英（宮城）以来となる男女アベック優勝を飾った。男子の2時間1分18秒は大会新記録で2年連続9度目、女子は1時間7分37秒で初の頂点に立った。

当日は晴天にも恵まれ、京都熊本県人会をはじめ関西各地、同窓会や学校関係者、保護者ら大勢が熊本県選手に大きな声援を送った。



▲準優勝の九州学院の選手たち(大会前日宿舎)



▲健闘した千原台の選手たち(大会前日宿舎)



▲健闘した信愛の選手たち。競技後、応援スタンドで挨拶



▲熊本県を応援する県人会関係者(応援スタンド)



▲身を乗り出し選手の名前を叫んでの応援



▲九州学院準優勝の瞬間、手を取り合って喜ぶ